【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【公表番号】特表2010-504606(P2010-504606A)
【公表日】平成22年2月12日(2010.2.12)
【年通号数】公開・登録公報2010-006
【出願番号】特願2009-528587(P2009-528587)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｂ　33/26　　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｂ　33/26　　Ｚ
Ｈ０５Ｂ　33/14　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成23年6月30日(2011.6.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
時間的および／または局所的に可変に調整設定可能な輝度を有する光放出装置であって、該光放出装置は
基板（４００）と、
前記基板（４００）上の第１の電極面（３００）と、
前記第１の電極面（３００）の下部又は内部又は上部において前記第１の電極面（３００）に電気的に接触し、かつ前記第１の電極面（３００）を越えて突出している少なくとも２つの導電性導体路（３２０）と、
前記第１の電極面（３００）上の少なくとも１つの光放出機能層（２２０）と、
前記光放出機能層（２２０）上の第２の電極面（１００）と
を含んでおり、
前記少なくとも２つの導電性導体路（３２０）は、時間的および／または局所的に可変のおよび／または異なっている高さの電流によって駆動制御が可能であり、その結果として変化した輝度が生じるように調整されており、さらに、
前記少なくとも２つの導電性導体路は、有機層及び第２の電極面に対する側方縁部において、非導電性のポリマー層によって被覆されていることを特徴とする、光放出装置。
【請求項２】
前記少なくとも２つの導電性導体路（３２０）は、時間的に可変のおよび／または異なっている高さの電流によって駆動制御が可能であり、その結果として変化した輝度が生じるように調整されている、請求項１記載の光放出装置。
【請求項３】
前記少なくとも２つの導電性導体路（３２０）は５μｍ乃至１０ｃｍ、有利には５００μｍ乃至１ｃｍの間隔において相互に前記第１の電極面（３００）上に配置されておりかつ異なっている長さを有している、請求項１または２記載の光放出装置。
【請求項４】
前記少なくとも２つの導電性導体路（３２０）は相互に切り離してドライブ制御可能である、請求項１から３までのいずれか１項記載の光放出装置。

【請求項５】
前記少なくとも２つの導電性導体路（３２０）に導電接続されている少なくとも１つの電流源（６００）を備え、前記電流源の出力信号は前記少なくとも２つの導電性導体路に対する個別の変調周波数に調整設定可能である、請求項１から４までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項６】
前記少なくとも２つの導電性導体路（３２０）に対する個別の変調周波数は、２００Ｈｚを下回っている、有利には１００Ｈｚを下回っている、請求項１から５までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項７】
前記少なくとも２つの導電性導体路（３２０）は、１つの電流源（６００）とコンタクト形成するための電気的な接続部（３１０）を有しており、前記電気的な接続部は前記少なくとも２つの導電性導体路の異なった端部に存在している、請求項１から６までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項８】
少なくとも第１のグループおよび第２のグループの導電性導体路（３２０）を備え、ここで１つのグループの導体路は相互に導電的に接続されている、請求項１から７までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項９】
少なくとも２つのグループの導体路（３２０）のそれぞれは別の電流源（６００）に導電接続されており、ここで電流源の出力信号は相互に独立して変調可能である、請求項８記載の光放出装置。
【請求項１０】
少なくとも２つのグループの導体路（３２０）は共通の電流源（６００）に導電接続されており、該電流源の出力信号は変調可能である
請求項８記載の光放出装置。
【請求項１１】
前記光放出装置はＯＬＥＤである
請求項１から１０までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項１２】
付加的に、多数の光エレメント（５１０）を備えた光出力結合層（５００）が前記光放出機能層（２２０）の光路に存在している
請求項１から１１までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項１３】
多数の光エレメント（５１０）が前記光出力結合層（５００）の主表面に配置されておりかつ
該光エレメントは該表面にわたって異なっている分布および／または幾何学的な形状を有している、請求項１２記載の光放出装置。
【請求項１４】
前記光エレメント（５１０）は、レンズ、プリズム、円柱レンズ、光フィルタユニットおよび散乱粒子から成るグループから選択されている、請求項１２または１３記載の光放出装置。
【請求項１５】
前記第１の電極面（３００）と少なくとも１つの光放出機能層（２２０）との間に付加的に、第１の電荷搬送層（２１０）が存在しており、ここで第１の電荷搬送層は異なっている導電率を有する部分領域を有している、請求項１から１４までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項１６】
前記第１の電荷搬送層は横方向において、比較的高い導電率および比較的低い導電率を交番的に有している交番領域を有している、請求項１５記載の光放出装置。

【請求項１７】
前記第１の電荷搬送層（２１０）は、分布が電荷搬送層の部分領域において変化するドープ剤（２４０）を有している、請求項１５または１６記載の光放出装置。
【請求項１８】
前記少なくとも１つの光放出機能層（２２０）と前記第２の電極面（１００）との間に付加的に、第２の電荷搬送層（２３０）が存在しており、ここで該第２の電荷搬送層は異なった導電率を有する異なった部分領域を有している、請求項１５から１７までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項１９】
前記第２の電荷搬送層は横方向において、比較的高い導電率および比較的低い導電率を交番的に有している交番領域を有している、請求項１８記載の光放出装置。
【請求項２０】
前記第２の電荷搬送層（２３０）は、分布が前記電荷搬送層の部分領域において変化するドープ剤（２４０）を有している、請求項１８または１９記載の光放出装置。
【請求項２１】
付加的に、前記第１の電極面（３００）の表面は横方向において変化する導電率を有している、請求項１から２０までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項２２】
前記第１の電極面（３００）の表面は横方向において変化する表面変形部（３３０）を有している、請求項２１記載の光放出装置。
【請求項２３】
付加的に、前記第２の電極面（１００）の表面は横方向において変化する導電率を有している、請求項１から２２までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項２４】
前記第２の電極面（１００）の表面は横方向において変化する表面変化部（３３０）を有している、請求項２３記載の光放出装置。
【請求項２５】
変化する輝度を有する光放出装置であって、該光放出装置は
基板（４００）と、
該基板に第１の電極面（３００）と、
該第１の電極面に少なくとも１つの光放出機能層（２２０）と、
該光放出機能層に第２の電極面（１００）と、
前記光放出機能層の光路に光出力結合層（５００）と
を含んでおり、ここで該光出力結合層は表面にわたって異なっている分布および／または幾何学形状を有する多数の光エレメント（５１０）を有している、光放出装置。
【請求項２６】
前記光エレメント（５１０）は、レンズ、プリズム、円柱レンズ、光フィルタユニットおよび散乱粒子から成るグループから選択されている、請求項２５記載の光放出装置。
【請求項２７】
前記光エレメント（５１０）は前記光出力結合層（５００）の主表面に配置されている請求項２５または２６記載の光放出装置。
【請求項２８】
光放出装置はＯＬＥＤである
請求項２５から２７までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項２９】
変化する輝度を有する光放出装置であって、該光放出装置は
基板（４００）と、
該基板に第１の電極面（３００）と、
該第１の電極面に第１の電荷搬送層（２１０）と、
該光放出機能層に第２の電極面（１００）と

を含んでおり、
ここで前記第１の電荷搬送層は異なった導電率を有する部分領域を有している、光放出装置。
【請求項３０】
前記第１の電荷搬送層は横方向において、比較的高い導電率および比較的低い導電率を交番的に有している交番領域を有している、請求項２９記載の光放出装置。
【請求項３１】
前記第１の電荷搬送層（２１０）は、分布が前記第１の電荷搬送層の部分領域において変化するドープ剤（２４０）を有している、請求項２９または３０記載の光放出装置。
【請求項３２】
前記少なくとも１つの光放出機能層（２２０）と前記第２の電極面（１００）との間に付加的に、第２の電荷搬送層（２３０）が存在しており、前記第２の電荷搬送層は異なった導電率を有する異なった部分領域を有している、請求項２９から３１までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項３３】
前記第２の電荷搬送層は横方向において、比較的高い導電率および比較的低い導電率を交番的に有している交番領域を有している、請求項３２記載の光放出装置。
【請求項３４】
前記第２の電荷搬送層（２３０）は、分布が前記第２の電荷搬送層の部分領域において変化するドープ剤（２４０）を有している、請求項３２または３３記載の光放出装置。
【請求項３５】
前記ドープ剤（２４０）の分布は数パーセントの領域、有利にはドーピング濃度の最大値の１５％を下回っている、請求項２９から３４までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項３６】
光放出装置はＯＬＥＤである、請求項２９から３５までのいずれか１項記載の光放出装置。
【請求項３７】
変化する輝度を有する光放出装置であって、
前記光放出装置は
基板（４００）と、
前記基板上の第１の電極面（３００）と、
前記第１の電極面上の少なくとも１つの光放出機能層（２２０）と、
前記光放出機能層（２２０）上の第２の電極面（１００）と
を含んでおり、
前記第１の電極面および／または第２の電極面は、横方向において変化する導電率を有しており、さらに、
前記第１の電極面（３００）および／または第２の電極面（１００）は、横方向において変化する表面変化部（３３０）を有していることを特徴とする、光放出装置。
【請求項３８】
前記横方向に変化する表面変化部（３３０）は、電荷担体出射量の局所的な変更及び／又は表面抵抗の局所的な変更によって形成される、請求項３７記載の光放出装置。
【請求項３９】
前記光放出装置はＯＬＥＤである、請求項３７または３８記載の光放出装置。